



議会だより

中土佐町

No.51

平成30年11月25日発行

9月定例会
第2回臨時会



■町長・副町長の給料減額 2

■平成29年度決算を認定 3

■陳情2件を採択 4

今回の主な内容

- 平成30年9月定例会・第2回臨時会
 - 議案審議 2
 - 行政報告 4
 - 一般質問 5
 - 委員会活動報告 14
 - 主な議案と議員の賛否 15
- 議員の活動状況 16
- 追跡・声 19
- 地域で頑張る仲間 20

9月定例会・第2回臨時会

案議
議審

町長・副町長の給料減額 幹部職員の酒気帯び運転を受けて

平成30年9月定例会が、9月12日から21日までの10日間の日程で行われました。

開会日の12日には、町長の行政報告、議案の提案理由説明、委員会の活動報告などが行われました。

18・19日は一般質問（P5から関連記事）が行われ、8人の議員が町の課題を執行部に問いました。

21日には議案の審議が行われ、町長提出の議案15件を可決。そして、平成29年度決算を認定しました。また、陳情2件を採択し閉会しました。

9月定例会に先立つ8月3日には第2回臨時会が行われ、住宅団地用地購入など4議案を可決しました。

常勤特別職の給与 旅費条例の改正

議案第40号「中土佐町常勤の職員及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について」は、幹部職員の酒気帯び運転による事故の管理責任を取り、町長と副町長の給料の10割を町長は3カ月、副町長は2カ月減額する

ものだ。

質疑では、減額の基準等を執行部に確認した。

討論で佐竹敏彦議員が反対討論を行った後、採決を行い、賛成7・反対3（欠席1）で可決された。

新庁舎建設工事

25億6千万円で契約

新庁舎建設工事 請負契約締結

議案第45号「中土佐町

新庁舎建設工事請負契約の締結について」は、戸田建設㈱と25億6824万円で契約するものだ。

質疑はなく、本井康介議員が賛成討論を行った。採決の結果、全会一致で可決された。

造成工事と道路の完成が年内に予定されており、その後、2020年度中の完成を目指し建設が始まる。



役場庁舎が建設される久礼中学校東側

反対

常勤の特別職の給与 旅費条例の改正に

討論

佐竹敏彦議員

休日まで管理できない

町民の中に厳しい意見もあり、道義的な責任で自らを厳しく処分をするということだと思う。

（職員の）プライベートな時間で、管理監督ができない時間帯で起こした道路交通法上の問題だ。

できないことに関して責任を負うというのは、あるべき姿ではない。

賛成

新庁舎建設工事請負 契約に

討論

本井康介議員

町民に配慮を

大型事業は多分初めてだ。工事が複雑になり、小さなものから大きなものまで想像される。

町民への配慮を願い、賛成とする。

平成29年度決算を認定

平成29年度の各会計歳入歳出決算と昨年度から企業会計となった簡易水道事業の決算は、それぞれ総務常任委員会と教育民生常任委員会に付託されていた。両会計決算とも総務・産業建設・教育民生の常任委員会による連合での審査が行われ、

その後の付託先での審査で「認定すべきもの」と決定した旨の委員長報告が本会議であった。これをうけ本会議で採決した結果、全会一致で「認定」と決定した。



平成29年12月に完成した七面鳥の処理ができる食鳥処理施設

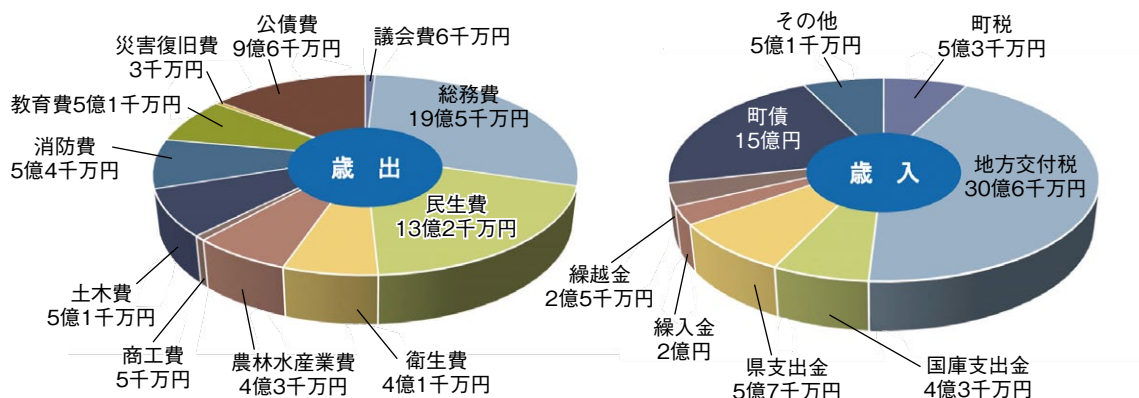


改修に国の重要文化的景観の補助金を活用した久礼八幡宮直会殿



上ノ加江小学校に完成した災害時の資機材倉庫

一般会計決算の内訳



平成29年から工事が始まり完成が近づいた庁舎移転等工事の造成工事

各会計決算の状況

単位：百万円

会 計 名	歳 入	歳 出
一般会計	7051	6768
国民健康保険特別会計	1229	1229
住宅新築資金等貸付事業特別会計	3	3
農業集落排水事業特別会計	38	38
介護保険特別会計	1245	1245
後期高齢者医療特別会計	122	118

簡易水道事業貸借対照表

単位：百万円

資産の部		負債の部	
固定資産	1723	固定負債	608
流動資産	101	流動負債	63
		繰延収益	511
			1182
		資本の部	
		資本金	632
		剰余金	10
			642
資産合計	1824	負債資本合計	1824

外国船モニターツアー始まる

池田町長の行政報告

●職員の不祥事

税務課長の酒気帯び運転、高幡東部清掃組合職員の薬物事件があった。心より深くお詫び申し上げる。再び不祥事を起こさぬよう服務規律の徹底と公務員倫理確立のため意思統一を図る。職員一丸となって信頼回復に向け努力する。

●平成 29 年度決算状況と今後の財政見通し

国保会計を除く各会計において安定的な運営を行っている。各種事業は、毎年度計画を見直し健全な財政運営を図る。

●公共施設等移転事業

造成地と道路は年内に完成の予定だ。役場庁舎建設は、早期の着工に向け取り組みたい。

●SEAプロジェクト

2年目からが正念場だ。中核施設の「マルシェなかとさ」の経営強化は、出荷者協議会の協力も得ながら、確実に一歩ずつ進める。

●外国客船モニターツアー

外国船籍の外国人観光客を対象とする。「道の駅なかとさ」を拠点とする「寄港地観光」事業だ。10月20日に寄港予定のクルーズ船アムステルダム号の乗客に対し実施する。

●大雨被害の状況と防災対策

町内における夏からの一連の大雨災害に対し、復旧に最大限の努力を傾注して行く。自主防災連絡協議会とも協働・連携を深め、防災強化につなげていく。

●幕別町との交流事業

8月1日から8月4日の間、幕別町を訪問し、それぞれ小学生が交流を深めた。来年は、幕別町の小学生たちが中土佐町に来る予定で、心をこめてお迎えしたい。

JR土佐久礼駅自転車置き場整備を要望する陳情

採
択

陳情の趣旨は、久礼駅には自転車置き場がなく、自転車利用者は雨ざらしの自転車に乗って、腰をぬらして帰宅している状態のため、自転車置き場を整備してもらいたいというものだ。

総務常任委員会で審議した結果、陳情に記載されている状態であることは間違いでない。また、40台余りの自転車が無造作に置かれており、中土佐町の玄関口として、景観的にも問題があるため、「採択すべきもの」と決定したと委員長から報告があった。

これを受け、本会議で採決した結果、委員長の報告のとおり、全会一致で「採択」と決定した。



久礼駅周辺の雨ざらしのままの通学・通勤用の自転車

大股高樋沈下橋公衆トイレの設置の陳情

採
択

陳情の趣旨は、高樋の沈下橋へは、多くの観光客が訪れているが、現在設置されている簡易トイレは四万十川のイメージを損なっており、新たに公衆トイレを整備してもらいたいというものだ。

産業建設常任委員会で審議した結果、観光だけでなく、教育での利活用やその他の要素も加味し、「採択すべきもの」と決定したと委員長から報告があった。また、「観光客数を把握し、適正な規模と方式とすること」「各種法令や条例、そして、国の重要文化的景観等との関連も調査すること」「陳情者とは管理方法、観光にどう生かすかなど、十分な協議をすること」という意見が付された。

これを受け、本会議で採決した結果、委員長の報告のとおり、全会一致で「採択」と決定した。



周辺への公衆トイレ設置の要望があった高樋の沈下橋

一般質問

～所信を問う～

9月18日・19日の2日間、一般質問が行われ、8人の議員が防災対策、道の駅の運営、美術館移転、上ノ加江中学校の統合問題など町の諸問題を取り上げました。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長などに対し疑問点をだし、所信の表明を求めるものです。



下元 道夫 ……P 6

- がん予防の取り組みを
- 福祉タクシーの充実を



福永 守恭 ……P10

- 自然・体験型観光は
- 森林環境譲与税は



山本 建生 ……P 7

- 早めの避難指示・勧告を
- 南海トラフ地震対策は逃げることを重視して



山下世仁子 ……P11

- 道の駅は主婦目線での品ぞろえを
- 風水害対策を



窪田 和教 ……P 8

- 美術館移転で既存施設の利用は
- 地産外商マネージャーと駅長との兼務は無理では



岡 伊三男 ……P12

- 上ノ加江公民館は8月に取り壊しのはず
- 上ノ加江中学校は統合か



高橋 雄造 ……P 9

- 豪雨対策の問題点は
- 骨髄提供者に休業補償を



佐竹 敏彦 ……P13

- 災害時の逃げ遅れへの対処は
- 役場採用年齢の引き上げを



下元 道夫

がん予防の取り組みを 生活習慣確立の啓発で

問 がんの早期発見・早期治療は。受診率・受診勧奨の取り組みは。

山本健康福祉課長 平成29

年度の受診率は、胃がん検診12割、大腸がん21割、肺がん24割となっている。受診勧奨は、健康づくりサポーターが戸別訪問を行っている。

問 予防は、たばこ・酒・運動・食生活・適正体重という5つの健康習慣を

実践することで、がんのリスクが半減という考えも示されている。予防の取り組みが必要と考えるが。

山本健康福祉課長 生活習慣を見直すことは大きな課題である。子どものときから健康的な生活習慣を確立することだ。教育委員会とも連携し、正しい生活習慣をつける啓発を続けたい。



がん検診の順番を待つ町民の皆さん(大野見保健福祉センター)

福祉タクシーの充実を

仕組みを模索する

問 福祉タクシー券の検討の経過は。

山本健康福祉課長 平成22

年度から、高齢者や障がい者など移動が困難な方が、通院、買い物などタクシーを利用する場合に助成を行っている。この間、充実に努めてきた。

問 移動手段に困っている方もいることも事実だ。今後、さらに充実している考えがあるか。

地震・津波対策は

問 町中の道路、避難路確

定されている。健康福祉課、社会福祉協議会の方々と協議し、本当に助けが必要な方にしっかりと届けたい。仕組みを模索していく。



元氣塾や病院への通院に福祉タクシーを利用する高齢者の皆さん

保の取り組みは

平田総務課長 (家屋の)

耐震化事業・ブロック塀除去が思ったほど進んでいない。啓発を進めていきたい。

問 避難訓練では、非常時の持ち物を持っている方はほとんどいない。(高齢者等は) 小袋に保険証・お薬手帳・常備の薬を常に持ち歩くことが必要だと思うが。

平田総務課長 薬などは自己管理していただきたい。避難訓練時に地域担当職員が啓発していきたい。

問 避難生活(仮設住宅)への可能性調査は。

池田町長 津波が襲来したら、久礼・上ノ加江・矢井賀の沿岸部は壊滅的な状態になる。有事の際には高台である大野見地域で対応できるように今後取り組みでいく。

問 中土佐町の疾病別死者数は。

山本健康福祉課長 平成28年度の死亡者数は、がんと心疾患が共に28人、脳血管疾患14人、肺炎13人、老衰10人である。

早めの避難指示・勧告を

早めの指示をしていく

問 斜面崩壊危険箇所・河川氾濫をどの程度把握しているか。

把握しているか。

鍋嶋建設課長 町内の急傾斜地の危険箇所は341カ所、土石流の危険箇所は126溪流だ。河川は、県が管理する16河川のうち久礼川で河川改修事業を実施している。町が管理する河川は、ヨシなどの除草や堆積土の撤去、護岸の補修などを必要に応じて実施している。

問 中土佐町の地質、斜面崩壊との関連をどの程度

軟弱な地質ではないと思われる。

問 豪雨ではアメダスなど精度が高い。早めの避難指示・勧告はできないか。

平田総務課長 気象庁の情報、最近かなり精度が高い。早めに情報提供していくようになっていくと思う。



2月に完成したばかりの「コンクリートのり枠」ごと崩落した大野見萩中押谷の現場

南海トラフ地震対策

逃げることを重視して

自主防と情報共有を

や民生委員、世話役との情報共有はできているのか。

平田総務課長 自主防との情報共有はしていきたい。

問 現在ある避難場所を利用した子どもたちの避難訓練は、あっていいと思うか。

今橋教育次長 県下一斉の避難訓練時に近くの避難場所へ避難している。どこにいてもいち早く避難行動のとれるよう、子どもたちの訓練を引き続き各機関と協力しながら行っていきたい。

問 保護者と子どもたちが避難意識を共有することが大事と思うか。

岡村教育長 どこに避難するかを家で話し合ってもらうようPTA総会・参観日に話している。

問 災害時に役場職員が果たす役割は大きい。町外通勤者が多いがどうする

のか。

三本副町長 地震津波が夜間・休日に起こった場合大変な状態になる。役場OB・自主防・社協との連携で何とかしたい。

故林勇作氏の資料を

問 故林勇作氏が残した書物・写真・民具などがたくさんある。活用を検討してほしいか。

岡村教育長 奥さん立会いの下、倉庫を見せていただいた。膨大な資料が眠っており精査には人と予算、施設が必要になる。ご遺族と協議して対応していきたい。

その他の質問

障がい者雇用は

山本 建生



窪田 和 教

問 美術館移転候補地は黒潮本陣近くということだが、他に候補に挙げた所は。議会側への説明はしたか。

今橋教育次長 大野見や城山（久礼）などが挙げたが、黒潮本陣敷地内という結論になった。調査費計上の段階で（議会側に）説明はしていない。

問 調査は建てる前提ではないか。6月定例会で「十分な広さの確保が難しい」「駐車場確保が困難」と言っている。（用地造成の）費用が高くなるのではないか。造成費に対して意見は出たか。

池田町長 黒潮本陣駐車場の裏山の傾斜地を利用し

美術館移転既存施設の利用は

プラスアルファが必要

てできないかという仮定だ。大きなお金になるなら、費用対効果で駄目ということになる。黒潮本陣周辺ありきでやっているわけではない。

問 美術品の保管場所に大野見庁舎2階を使うことは、大野見出身議員が以前から言っていた。大野見庁舎と青年の家を使え

ば美術館のスペースも確保できる。

池田町長（美術館）館長は、「美術館、作品だけではるばる来る人はほとんどいない。温泉・景色・買い物のプラスアルファが大切」と言っている。館長の言う通りだと考えている。



移転が論議されている町立美術館

地産外商マネージャー 駅長との兼務は無理では これまで通りやっていく

問 地産外商マネージャーを配置して3年になる。有為な人材に力を発揮してもらおう環境づくりが重要と思うが。

竹邑水産商工課長 道の駅にいながら外商に取り組んでいくため、今の配置が最適と考えている。

問 駅長の本来の仕事は地産外商マネージャーだ。マネージャーの報酬を町が出していることを知らない町民も多い。駅長を



地産外商の拠点となることを目指す「道の駅なかとさ」

兼務し（マネージャーとして）生産者と相談しながら、県内外で町産品の販路拡大をする仕事との両立は物理的に難しいのでは。

竹邑水産商工課長 本人に聞いたが、これまで通りやっていきたいとのことだ。

問 駅長の仕事と外商の仕事は違うと思う。仕事の振り分けは水産商工課長がしているのか。

池田町長 マネージャーの能力を開花できるよう私も一緒に取り組む。

その他の質問

▼大野見北地区への「出張役場」は

豪雨対策の問題点は

的確な対応が必要

が終了し、12月中には災害査定を受ける予定だ。平成31年度中には復旧工事を完成したい。

西田農林課長 下ル川林道

熊ヶ谷線は、国の林道災害査定を終え、補助金等の条件が整えば、復旧工事を発注する。本年度の完成を目指して事業を实

施する。

問 今回の豪雨災害で問題となった点があればその対応は。

平田総務課長 7月1日から8日の事態終息まで危機管理室が情報収集を行った。しかし、明確な気象情報は予見が難しく、

発令される警報には適格な対応が必要と痛感した。夜間避難所運営は、台風・豪雨の連続で、(職員)の体力的・精神的に負担を感じた者が見られた。ローテーションを適切に組むことで、負担軽減と避難所の安定的な運営の検討を続けていく。

骨髄提供者に休業補償を

取り組みに向け協議

問 骨髄バンク事業は、法律に基づく公的事业だ。町として活動を開始する考えはないか。

山本健康福祉課長 骨髄バンクによる骨髄移植を希望している患者のため、町としても県や日本赤十字社などと連携を図る。また、ドナー募集のため

問 骨髄提供者に対する休業補償が必要と思われるが、助成する考えは。

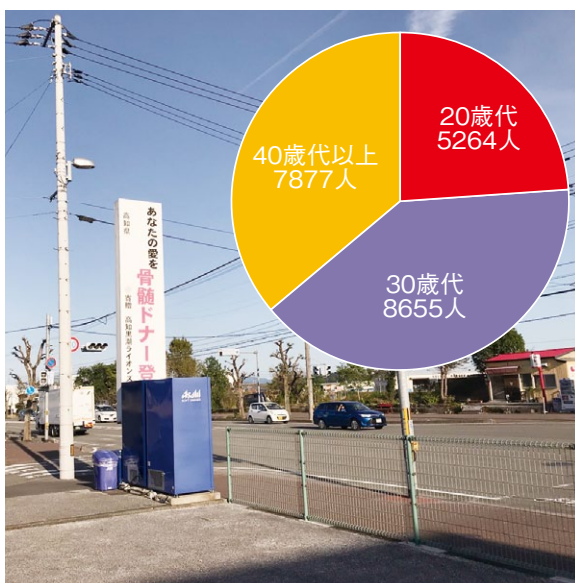
池田町長 県下の市町村で、2割が休業補償を行っている。本町も取り組みを進めるため協議している。

問 西日本豪雨は各地に被害をもたらした。大きな土砂崩れを起こした大野見地区2カ所の復旧状況と完成時期は。

鍋嶋建設課長 萩中押谷線は、二次災害防止の作業



7月の豪雨で崩壊した大野見下ル川熊ヶ谷林道



骨髄ドナー登録を啓発する看板と平成30年3月末現在の提供者の状況

高橋雄造



福永守恭

自然・体験型観光は 外部アドバイザーの助言も

問 県は平成31年度から、「志国高知幕末維新博」に続き自然・体験型観光を進める方針だ。本町は自然・体験型観光に、どのように取り組んでいくのか。



上ノ加江で漁業体験をする久礼小学校の児童

竹邑水産商工課長 本町は海・山・川と魅力あふれる自然を有している。これらを活用した体験型観光に取り組んできた。特に海を生かした体験型観光はお客さまからの評価も高く、実施団体も重要な事業と位置づけている。既存事業をさらに磨き上げ、本年度から専門的な知識や経験を有する外部アドバイザーの助言もいただく。官民協力の中で、中土佐町らしい自然・体験型観光に取り組んでいく。

問 県は観光拠点等の整備事業費を拡充すると聞いている。施設の整備計画の具体的なものはあるか。

竹邑水産商工課長 拡充される同補助金の基本となる考え方は、新たな経済効果を生み出す新資源の創出であり、自然を生かして外貨を稼ぐ仕組みの構築だ。

観光関係事業者と今後連携しながら仕組みづくりを行う。外貨を稼ぐ仕組みが構築できる体験型事業に、積極的な整備支援を行っていききたい。

森林環境譲与税は

林業振興を図るために

問 森林環境税は6年後から課税され、森林環境譲与税の譲与は前倒しで平成31年度から行われる。本町にはいくらの森林環境譲与税が譲与されるか。

西田農林課長 国が定める譲与基準では譲与額は私有林人工林面積・林業従事者数・人口によって決定される。それに基づき高知県が試算した中土佐町への譲与額は、平成31年から1300万円。その後、段階的に増額し、最終的には4300万円になる見込みだ。

問 森林環境譲与税を活用して、市町村は新たな森林経営管理体制を構築しなければならないが。

西田農林課長 県主催の説



豊かな森林資源に恵まれた中土佐町

明会やワーキンググループを通して、所有者の調査・現地調査・施業方法

の決定など、それぞれの工程の作業内容を明確にしようとしている段階だ。森林資源の適切な管理、林業の振興を図るため、森林環境譲与税を活用し、森林経営管理体制の構築に向け、関係機関と連携して検討していきたい。

主婦目線での品ぞろえを

出荷者協議会と協議

問道の駅は、物流を通じ交流人口の拡大と町の活性化を目的として建設された。大正町との相乗効果も、ある一定あったと推察する。

一年過ぎた現在では、前年に比べ下回っている。時々利用するが確かにオープン当時の盛況ぶりにはうかがえない。

主婦の目的とする新鮮野菜が品薄で、手厳しく言う魅力に欠ける。道の駅「マルシェ」の特色や今後の取り組みは。

竹邑水産商工課長 特色は

地元で取れた新鮮な魚や野菜だ。町内産品やオリジナル商品の拡充を図り、改善できることから実施する。

道の駅出荷者協議会も設立し、役員会で道の駅の魅力を高めていこうと

意思確認をした。

今後は出荷者協議会と協力しながら品ぞろえも含め、魅力ある店舗にしたい。

池田町長 商売は相手があ

って初めて成り立つものだ。女性が大きな力を握っており、財布のひもをどうやって緩めていた

品ぞろえであり、雰囲気づくりであり、職員一丸となってこれからも努

力する。



品ぞろえが課題の道の駅の「マルシェなかとさ」

風水害対策を

最悪の場合を考え対応

問各地で豪雨災害が多発し、今夏は異常気象と言われ、台風の発生率も例年を大きく上回っている。地震津波対策に加え、風水害に対しても対策を練る必要がある。

避難路などの定期点検、また、水路や河川、道路を定期的に見回ってはどうか。

平田総務課長 津波避難路

は、原則維持管理を地元自主防災に任せている。不定期となるが、担当職



自主防災組織が管理する避難路が多い中、町が管理する避難路（道の駅～黒潮本陣）

員が現地の見回りも行っている。

水路・河川・道路などは、それぞれ担当課で順次点検を行うよう指示している。

鍋嶋建設課長 河川は、県

と情報を共有して、対応に当たっている。

池田町長 昨今は異常気象だ。地震や台風被害は、

いっどこで起こっても不思議ではない。最悪の場合を考えて対応している。住民の命を守ることが最大の課題で、地域の安全に努力する。



山下世仁子



岡 伊 三 男

上ノ加江公民館

8月に取り壊しのはず

近隣家屋への影響調査で遅れ

問 上ノ加江公民館は、8月から取り壊しの予定だった。取り壊し設計委託料と取り壊し工事費の（補正予算への）同時計上は、工期の短縮ということではなかったか。

今橋教育次長 取り壊しの委託契約を行い、現地の測量を終え、基本計画に基づいた設計に取りかかっている。

取り壊し工事や建設工事で近隣の家屋に影響（を与える）懸念があるために、家屋などの事前調査に取りかかっている。しかし、調査の日程調整に（時間が）かかっている。

また、公民館にアスベストが含まれている可能性があり、調査を実施している。



取り壊しのため旧上ノ加江保育所で業務を行う公民館職員

問 移転補償費224万4000円を計上している。取り壊しの部分に含めているのか。

今橋教育次長 本来、更地

にして所有権移転するのが通常の土地購入である。しかし、今回の契約は現存の家屋、不必要な家財は残した状態で取り壊す契約をしている。

上ノ加江中は統合か

保護者の意向を伺って

問 上ノ加江中学校のクレーの設置はリース契約で行われている。これは今後の統合問題を視野に入れてのことか。

岡村教育長 統合が継続ではなく、学校のあり方を模索しており、結論・方向性も出ていない現状から、リース契約が妥当であるとの結論に至った。

問 保護者と統合問題の話をする予定は。



統合か存続かの議論を待つ上ノ加江中学校

その他の質問

▼ 矢井賀・上ノ加江・笹場へのヘリポートは

岡村教育長 上ノ加江小学校の全保護者を対象に説明会を行う。今後の学校のあり方を教育委員会と保護者が検討していくという確認をしている。

今後は可能な限り保護者の意向を伺い、話を続けていきたい。



佐竹敏彦

問 西日本災害で被害の大きかった原因に、自分は大丈夫と判断して逃げ遅れるというものがある。基本は逃げるだが、避難率4・6割のデータもある。

災害時逃げ遅れへの対処は

周知啓発を積極的に

る。逃げるのが大きな課題だ。この問題の対処は。

平田総務課長 被害の大きかった自治体は、避難勧告の指示の遅れが指摘さ

れている。気象情報などを迅速に入手分析し、犠牲者を出さないよう早めに避難するようにと自主防災会などに周知・啓発を積極的に行う。



西日本豪雨で避難所となった倉敷市真備町の菟小学校体育館(写真提供:高知県)

役場採用年齢引き上げを

社会人枠で採用も

問 役場の採用年齢年限の引き上げができないか。採用年齢上限を59歳とし、実質撤廃している自治体もある。

平田総務課長 職員採用の年齢制限は、若手世代で手薄な状態が続いていることから、30歳までとしている。

一昨年には社会人枠で年齢制限を撤廃し、技術職を募集した。

今後、一般行政職でも即戦力確保に重きを置くことで、これに準じる形で行えると思う。

国保の外国人加入は

問 国保は市町村に住所を有する者が(加入するのが)基本だが、外国人が3カ月を超えて在留すれば加入できるようになった。

この結果、医療費未払いのままの帰国。また、外国で出産して一時金42万円の受給や(医療機関から市町村国保会計に)800万円が請求されたといった事実も報告されている。国保会計の赤字に拍車を掛け、大きな社会問題になっている。町での事例は。市町村で解決可能か。

国保加入資格要件の変更

平成24年に、在留外国人の国保加入資格要件は、在留資格「1年以上」から「3か月を超える」に短縮された。

多田町民環境課長 5年間にさかのぼって確認したが不正請求などはなかった。

在留外国人の国保悪用問題は、国からの指導で、資格取得から1年以内に限度額申請を行った場合、在留期間・資格、資格取得理由などの聞き取りを行う。調査後、在留資格の本来の活動を行っていないなどの疑義があれば入国管理局に連絡し、在留資格取り消しの試行的運用が行われている。

これで不正受給の防止につながると思うが、国県や関係機関との連携が重要で、市町村のみでの解決は困難だ。

その他の質問

- ▶ 少子化対策は
- ▶ 危機管理は
- ▶ 豊かな海づくり大会でカソオ資源問題を
- ▶ 人権教育研究協議会への支出は

委員会活動報告

9月定例会の初日（9月12日）、総務・産業建設・教育民生の各常任委員長から議会閉会中の委員会の活動報告がありました。

総務常任委員会

定住団地整備を早急に

移住定住対策を調査

移住相談件数は、平成27年度から30年6月までに305件あり、この間に101人（県外30人）が移住した。

中間管理住宅事業への空き家所有者からの相談者は、所有者が町外に住んでいる場合が多い。入居移住者は、久礼地区に応募が集中し、抽選で入居者を決めている。

空き家等紹介事業に平成18年度から取り組んでいる。空き家のほかに店舗や土地の紹介も行っている。

移住定住策を進めるために住宅問題が優先事項



中間管理住宅を調査する総務常任委員

産業建設常任委員会

旬を利用し、中土佐を全国に

久礼中心商店街を調査

久礼中心商店街の代表6人の方々からの聞き取りと意見交換を行った。

「道の駅なかとさ」のオープンから約1年たった。商店街へのお客さんは、オープン時は2割から3割増えた。しかし、2カ月後の10月には平常に戻った。その後、2割から3割減っている。店によつては3割から4割減というところもある。

道の駅の看板が多く目につき、もう少し全体的な看板や宣伝の仕方があっていいのではないかという意見も出された。

また、お客さんが来てくれるためには、魅力あるまちづくり、来てくれる仕掛けをつくるのが大事である。

都会のスーパーマーケットには季節はないが、「旬」を利用し、中土佐を全国に売っていく。

これからも自分たちでできることは精いっぱいするが、それをしっかりサポートするのが行政の役割である。という貴重な意見をいただいた。



久礼中心商店街の皆さんとの意見交換

教育民生常任委員会

民生委員のなり手不足が深刻

民生委員・町文化財を調査

民生委員に関する調査と文化財保護に関する調査を行った。

民生委員に関する調査では、民生委員児童委員協議会会長、大野見・上ノ加江・矢井賀・久礼のそれぞれの役員と意見交換した。

民生委員の役割は多岐にわたり、ますます重要な文化財の保護に万全を期するよう要請をした。

主任児童委員3人を含む38人の民生委員が地域別に担当している。しかし、民生委員のなり手がいないという深刻な問題が提起された。

文化財保護に関する調査では、県指定文化財が3、町指定文化財が41ありと報告を受けた。貴重な文化財の保護に万全を期するよう要請をした。



民生委員役員の皆さんとの意見交換

私は、賛成・反対 しました。

《第2回臨時会の主な議案と議員の賛否》

○・・・賛成 ●・・・反対 除・・・除斥 退・・・退席 /・・・議長

議 員 名	黒原 昭一	山本 建生	山下世仁子	岡 伊三男	本井 康介	松下 裕之	下元 道夫	佐竹 敏彦	窪田 和教	高橋 雄造	福永 守恭	中城 重則	可 否
審議した議案等													
専決処分の承認（平成30年度一般会計補正予算（第2号）） ※災害復旧費など2130万円を増額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
久礼雨水ポンプ場の建設工事委託に関する協定の締結 ※日本下水道事業団と4億8000万円で協定を結ぶもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
共同利用ハウス高機能被覆資材等導入工事請負契約の締結 ※株式会社丸昇農材と7295万円で契約するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産の取得（日ノ川団地整備事業用地） ※日ノ川団地整備事業用地を6500万円で須崎地区森林組合から取得するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度中土佐町一般会計補正予算（第3号） ※災害復旧費など407万円を増額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

《9月定例会の主な議案と議員の賛否》

議 員 名	黒原 昭一	山本 建生	山下世仁子	岡 伊三男	本井 康介	松下 裕之	下元 道夫	佐竹 敏彦	窪田 和教	高橋 雄造	福永 守恭	中城 重則	可 否
審議した議案等													
過疎地域自立促進計画の変更 ※平成28年作成の計画について変更するもの	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
高幡広域市町村圏事務組合規約の一部変更 ※租税債権管理機構が新たに、保育料・下水道料・介護保険料・後期高齢者医療保険料の滞納整理事務を行えるよう変更するもの。また、本町が大野見青年の家の運営事業者となるよう、同組合の業務から「大野見青年の家の設置・維持管理・運営事務」を削除するもの。	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
高幡広域市町村圏事務組合規約の一部変更に伴う財産処分 ※大野見青年の家を本町へ無償譲渡する財産処分	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
常勤の特別職職員給与旅費条例改正 ※元管理職の懲戒処分に係る管理監督者責任として給料の1/10を減じる減給処分（町長3ヶ月、副町長2ヶ月）	○	●	○	欠	○	○	○	●	●	○	○	○	可決
大野見村生活安定緊急資金貸付基金条例廃止 ※当該資金の償還が完了したため、本条例を廃止するもの	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町立体育館の設置管理条例改正 ※利用料金を時間ごとに加算する設定に統一するもの。	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
社会体育施設設置条例部改正 ※公共施設移転等事業に伴う町営久礼テニスコートの廃止等の改正を加えるもの	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
社会体育施設の使用条例改正 ※使用料の減免、高校生以下に対する屋外照明施設使用料の半額措置等を規定するもの	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
新庁舎建設工事請負契約の締結 ※戸田建設株式会社と25億6824万円で契約するもの	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度一般会計補正予算（第4号） ※災害復旧費等1億1819万円を増額するもの	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号） ※前年度決算の確定に伴い、31万円を増額するもの	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号） ※前年度決算の確定に伴い、繰越金等を計上するもの	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号） ※前年度決算の確定に伴い、繰越金等を計上するもの	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度介護保険特別会計補正予算（第1号） ※前年度決算の確定に伴い、繰越金等を計上するもの	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） ※前年度決算の確定に伴い、繰越金等を計上するもの	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
大野見体育館耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結 ※前年度決算の確定に伴い、繰越金等を計上するもの	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度各会計歳入歳出決算の認定 ※地方自治法の規定による6会計の決算の認定	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成29年度簡易水道事業会計決算の認定 ※地方公営企業法の規定による決算の認定	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
大股高橋沈下橋公衆トイレの設置の要望書	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
J R土佐久礼駅自転車置き場整備を要望する陳情	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

A 私たちは、こんなことをしています。

《各議員の出欠状況(平成30年7月1日～平成30年9月30日)》

日付・会議等		議員名	黒原昭一	山本建生	山下世仁子	岡伊三男	本井康介	松下裕之	下元道夫	佐竹敏彦	窪田和教	高橋雄造	福永守泰	中城重則
7月6日	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月10日	町村議会広報クリニック （全国町村議員会館）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月11日	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月18日	全員協議会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月19日	高知県市町村議会議員研修会 （県民文化ホール／グリーンホール）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
7月25日	議員行政視察研修会（東北）		○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月26日			○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月27日			○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月30日	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月31日	教育民生常任委員会（社会福祉協議会）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
8月1日	総務常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月3日	議会運営委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
	第2回臨時会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	産業建設常任委員会（ぜよびあ）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月20日	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月6日	議会運営委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月12日	9月定例会＜1日目＞（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	産業建設常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
9月13日	決算認定連合審査（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総務常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月18日	9月定例会＜2日目＞（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育民生常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月19日	9月定例会＜3日目＞（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	産業建設常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月21日	9月定例会＜4日目＞（中土佐庁舎）		○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○

○・・・出席

●・・・欠席

△・・・一部欠席

／・・・所属委員等でない

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみを掲載しています。

Q 議員は何をしゅうが？

《議長の主な活動状況（平成30年7月1日～平成30年9月30日）》

● 7月

- 11日 高幡広域市町村圏事務組合との打ち合わせ(中土佐庁舎)
- 13日 第140回高幡消防組合定例議会(四万十町役場)
高幡広域市町村圏事務組合議会(四万十町役場)
- 17日 平成30年度県道窪川中土佐線・窪川船戸線改良促進期成同盟会総会
平成30年度黒潮スカイライン高幡地区建設促進期成同盟会総会(文化館)
- 18日 高幡東部清掃組合議会臨時会【議長・議選組合委員】(高幡東部清掃組合)
- 30日 森林環境税・森林環境譲与税に関するシンポジウム(高知市／高知城ホール)



文化財の聞き取り調査をする教育民生常任委員（7月31日）



県民文化ホールで開催された市町村議会議員研修（7月19日）

● 8月

- 3日 移動土木情報交換会
- 4日 第35回小中学生弁論大会【議長・教育民生常任委員長】(文化館)
- 7日 四国横断自動車道高知県建設促進期成同盟会総会ほか(四万十市／新ロイヤルホテル四万十)
- 20日 町村議会議長研修会及び県政に対する意見交換会(高知市／自治会館)
- 26日 第21回高幡消防組合総合演習(町内／高幡消防組合訓練場)



大野見青年の家移譲の説明があった全員協議会（8月3日）



移住定住対策の説明を受ける総務常任委員（8月1日）

● 9月

- 2日 大野見保育所運動会
第32回土佐牛まるかじり大会(栲原町／栲原町総合庁舎前)
- 17日 双名園敬老会(養護老人ホーム双名園)
- 22日 大野見小・中学校大運動会【(代理)副議長】
- 26日 平成30年度四国四県町村長・議長大会(徳島市／徳島グランヴィリオホテル)
- 29日 上ノ加江保育所運動会



徳島市で開催された四国四県町村長・議長大会（9月26日）



平成29年度決算を審議した決算認定連合審査会（9月13日）

「あーや どうなっちゃうぜよ」 追跡

今号では、岡議員が平成29年6月定例会で質問した「上ノ加江北地区の避難路」の質問を追跡しました。

【平成29年6月定例会】

上ノ加江北地区の避難路は

問（上ノ加江） 中山避難場所への避難路は、整備されていない場所が多く、役目を果たしていない。避難場所の用地は地権者との問題があるが、解決のめどは。



上ノ加江北地区の避難路の整備前（左）と整備後（右）

平田総務課長 漁業集落環境整備事業で行った（現在の）避難地は、浸水地域より下にあるという認識はしている。そこから上の墓地までは早急に整備し、上がりやすい状況をつくる。並行して、避難場所の用地は交渉していく。

池田町長 現在は非常に通りにくい状況だ。住民の方が安全に避難できるように、未整備部分は路面

を整備する。同時に、手すり等を付けて安全に避難できるようにしていく。（用地は）地権者の方のご理解が得られていない。粘り強く相談をさせていただく。

■その後の対応

本年度、途中までは整備した。未整備部分は、地権者のご理解が得られるよう引き続き努力したい。（総務課危機管理室）

給料に見合った活動を！ 休日議会の開催を！

声

昨年度実施した議会広報アンケートの中から、町民の皆さまの「声」をご紹介します。

★給料に見合った活動がみられない。収入が良いという理由で議員になっている感じがする。議員報酬目的は良くない。

★仕事をしている者が議회를傍聴できるよう1～2回は土日開催してはどうか。

全国の52都道府県の地方議会が「議員のなり手不足」を感じており、今後の対策として48%の議会が「議員報酬の引き上げ」と回答したという共同通信社の調査結果もあります。

しかし、「活動が給料に見合っていない」という町民の皆さまの「声」も、よく耳にします。どなたにも「給料に見合った仕事をしている」と思われる議会を目指します。

なお平成29年中の議会活動への出席は、議長が102日、議員が41～56日でした。この日数には、議長が書類の決裁や打ち合わせなどのために役場へ出てきた日数や、その他の議員が成人式や戦没者追悼式などの町の行事、学校・地域行事への参加などの議員個人の活動は除いています。



中城重則議長

最近、議会改革の一環として、土曜・日曜議会、夜間議会など、話題に上がることが多くなっています。合併前の中土佐町で日曜議会を開催したことがありますが、傍聴者は平日と変わることがなく、一回の開催で断念した経緯があります。議会を傍聴してもらい、知ってもらうことは大事なことです。しかし、職員の休日出勤で費用が膨らむことや「ほんとうに傍聴者が増えるのか」という懸念から現在ではためらっているのが現状です。このためインターネットで議会中継を見ることができるようになっています。



今年度の「議会だより」

の表紙の写真は「地域で頑張る仲間」を取り上げています。

今回は、久礼八幡宮大祭の頭屋である道の川で「御神穀祭」にかかわる仲間たちです。

土佐三大祭りの一つである「久礼八幡宮大祭」。今年の頭屋は久礼道の川の山本孝志さんだ。

「御神穀祭」はその年に採れた新米を八幡宮に奉納する伝統行事だ。

その言われは、1500年ごろ大飢饉が発生し八幡宮にお参りしたところ、翌年豊作だったという。

このため、新米を奉納してお礼参りをしたのが始まりと言われている。

「御神穀祭」は、各地

区の頭屋（現在は13戸）が毎年順番にその役を担う。頭屋となるとその準備は大変なものだ。その地区は総出となる。近隣の有志の協力も大きな力だ。

最も大変な準備は大松明・小松明づくりだ。竹切り、竹割り、松割りなどの準備のあと、30歳から90歳まで30数人がかりの松明づくり。1日がかりの大仕事となった。

出来上がった大松明は長さ6m強、最大直径1m、重さ約1t。小松明も12本構えた。平成最後の松明は地域ぐるみで完成した。

9月22日午前0時に大松明に点火。午前1時半、御神穀祭の約1000人を超える行列は松明の火に照らされて道の川を出発。午前4時定刻通り八幡宮に入殿。新米の御神穀で一夜酒が造られた。



地域総出の松明づくり



裏方さんも大忙し



お年寄りから若者へ



頭屋の山本さんから

みんなのおかげで無事御神穀祭を出すことができた。感謝の気持ちでいっぱいです。過疎と高齢化で大変さはどの地域も同じ状態だと思う。

今後は500年以上続くこの祭りの火を絶やさないよう、町や議会にも理解と協力をお願いしたい。



頭屋の大役を終えほっとする山本さん



今年は、6月から大阪北部地震、西日本豪雨、災害級の猛暑と台風の発生、更に北海道の地震、10月に入っても尋常でない台風が発生。日本列島は、毎年のように甚大な被害をもたらす自然災害に襲われている。台風においては地球温暖化の影響で過去の経験が通用しない気象災害が起り、数十年に一度の重大な災害が予想される場合に出される「大雨特別警報」なる新語も今年はよく耳にした。

災害はいつ、どこで、どんな形態で起きるのか予測は専門家でも難しい。それ故の備えの重要性を突き付けられる。教訓をくみ取り、生かす努力を続けるしかない。それにしても、台風の接近が予想される時、遅れることなく危機管理室を軸とし災害対策本部を立ち上げ、各庁舎に職員の担当者が寝ずに監視をしてくれているのは頭が下がる。当たり前のことと言えはそれまでだが、敬意を表したい。これからも住民に安全・安心を与えるため不断の準備を怠りなく願う。

中土佐町議会議員 高橋 雄造

中土佐町議会広報常任委員会

委員長 下元 道夫
副委員長 窪田 和教
委員 山本 建生
高橋 雄造